

共同利用

研究歴	すばる	共同利用運営について	観測準備	観測中	観測後	その他	
1	10年未満	4-8回				すばるの SS の能力は海外に比べて極めて高いと、すばるで働く前からずっと 思ってます。自分が SS だから言うのではありませんが、給与面などで もう 少し厚遇してもいいのでは？ RCUH 職員として働く以上、特に年金のことが将来大きな問題になるのですし。	
5	10年未満	9回以上	VLT などと比較すると、すばるの各観測装置に対する マニュアルが整備されておらず、そのため観測者（とSS）の 負担が極めて大きくなっていると思います。具体的には、 観測準備や観測時の留意点、データ解析について、現状 では多くの場合 「知っている人から教えてもらう」という 仕組みになっているように思えます（HDS のデータ解析 マニュアルなど、秀逸なドキュメントも部分的にはあるのですが）。マニュアル類の整備は、正確かつ十分な観測準備を進め、目的どおりの観測を遂行する上で欠かせず、それゆえ 非常に優先順位の高い取り組みだと思います。それから、標準的なデータ解析パイプラインが用意されていると、on site での quick look のチェックや初めて使う装置 のデータ解析を行う際などいろいろと有用であると思います。ソフトとして整備するところまで行かなくても、HDS の解析 マニュアルのように、必要な IRAF タスクと推奨パラメータを 順序だてて文書化していただくだけでも非常に有用だと思われま				

共同利用

			観測準備	観測中	観測後	その他
8	10年以上	なし	準備中の問い合わせにはすばやく反応していただいたので良いと思う			
14	学生	4-8回				FOCASでリモート観測できるように。
15	10年未満	4-8回	我々は開発グループでもあったので、SSが対応をしてくれなくても、何とか 関係する人に連絡をとって進めることができるが、海外からの観測者に対して も同じように対応していた場合があったこと知り非常に驚いた。 SSも観測前出張する場合などあるわけだし、たとえばSS一人が対応する のではなく、SSチームとして対応するようなことはできないか？			一つの晩に無理に複数の観測を詰め込むのはやめてほしい(特に天体の観測条件が良く合わない場合など)
17	10年以上	なし				応募を公募にできないか。
18	10年以上	4-8回			データリダクションについては、各装置ごとに細かなテクニク的なことも含め、講習会を開催してほしい(「すばる冬の学校」+ α の内容で、一般の研究者対象に)	
19	10年以上	4-8回			データ整約に対して、サポートを強化して欲しい(pipeline的なものの整備等)	
22	10年以上	なし				天文学研究の今後の進展を考える上でも、質・量共に研究者層の拡大は 必須であると思います。そのため、中口径望遠鏡の利用環境(サイエンス、技術、教育いずれにおいても)をさらに整備する視点を鈍らせないようにすることが重要です。

共同利用

		観測準備	観測中	観測後	その他
23	10年以上	9回以上			<p>●必ずPIが観測に行かなければならない、というもはやナンセンスなルールは撤廃してほしい。現にUH時間にはほとんどPIがきていない。これを許してなぜ通常の日本人の共同利用では許されないのか理解できません。</p> <p>●サービス観測で申請できる観測時間数を増やしてほしい。1晩-5晩。</p> <p>●1時間以上の空き時間が生じた場合、観測所に観測対象を連絡しなければいけない義務がある理由を説明してほしい。たいていの望遠鏡ではその晩に観測割り当てをもらったら臨機応変、自由に観測が遂行できるのだが、なぜすばるはお伺いを立てなければならないのでしょうか？特に、観測者の意図によらず多くの空き時間が生じるようにスケジューリングされる場合もあるので、当夜は観測者に自由に観測させてほしい。</p>
24	10年未満	9回以上	観測に対するサポートは全体に厚いと思います。	データリダクションのサポート（パイプラインの整備を含む）や、使いやすいアーカイブの構築など、取得されたデータを効率的に活用するところに力を入れるべきだと思います。	
25	10年未満	2-3回	Suprime-Camの古い初期のCCD情報が、すばるのホームページからなくなったのが、不便です。		

共同利用

			観測準備	観測中	観測後	その他
26	10年未満	9回以上				装置毎の詳細なステータス、データリダクションの詳細（標準的な解析の枠を離れる範囲の話、たとえばフラットの作り方の注意点など）、リダクション用のキャリブレーションファイルが現状ではばらばらに（SSの管理する表からリンクされていないページなどから）公開されていますが、観測所に情報を一元化して表のホームページから公開する方が良いと思います。
27	10年未満	9回以上		SSは観測準備と観測中に困った時、リアルタイムでもとても親切に手助けをしてくれるのでありがたい。		
28	学生	4-8回	PI装置として、ですが、、観測準備段階で装置側ソフトの改良などでSOSSとの結合試験をやりたいときにどういう条件でならできるかとどうやってやればいいのかを明確にしてほしい。	PI装置として、ですが、、現状で、ほかの装置のSSがないと、観測中に発見された.skファイルのバグを修正できないのでどうにかしてほしい。（事前試験のためにSOSSを利用できればいいんですが、、）		
29	10年未満	2-3回				全てについてマニュアルの不備。何となく仲間内で知っていると言う状況は新規参入を阻み、また、既にその中に入っている者のレベルの停滞を招く。
30	10年未満	4-8回				観測準備段階、観測中、観測後データリダクションに関して、サポートサイエンティストの方たちの負担は大変なものだと思います。

共同利用

			観測準備	観測中	観測後	その他
32	学生	9回以上				海外の方をCo-authorに入れて、その人が実際に観測に同行をする事になったときに、現状では、全くの援助が得られない状態ですが、（確かに難しいのは分かりますが、）補助対象の人数制限(3人)の枠内であれば多少の補助を得られるチャンスを考えていただくと助かります。
33	10年未満	4-8回			残念ながら、観測データの処理については、VLTやGeminiと比べると未整備の部分が多いと感じます。ソフトウェア開発、web上でのドキュメントの整備のための人員リソースがさらに必要と思います。	
34	10年未満	4-8回			データリダクションについてのノウハウなどを日々蓄積して公開してほしいです。	